



「上池袋図書館全面改修工事請負契約の一部の変更について」などを可決



令和7年第4回定例会は、11月12日から12月2日までの21日間にわたって開会されました。

今定例会では、各会派議員による一般質問が行われたほか、区長提出議案30件を可決、1件を同意、議員提出議案は2件を可決、報告1件を了承しました。

陳情は、1件を採択、4件を不採択、新たに6件を閉会中の継続審査としました。

令和7年第2回臨時会は12月16日に開会され、区長提出議案1件を可決しました。

上池袋図書館完成予想図
所在地: 豊島区上池袋二丁目45番15号
※現在は、改築工事のため休館中

1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和8年度以後も継続すること。
2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、令和8年度以後も継続すること。
3 商業地等における固定資

飲食業や小売業では仕入価格の高騰により値上げを余儀なくされ、顧客離れが進んでおり、製造業や建設業では資材価格の高騰により採算が悪化し、廃業を検討する事業者も少なくない。

このような状況下で、都独自の軽減措置が廃止されれば、事業継続や都民生活に深刻な影響を及ぼし、地域経済や日本経済の回復にも悪影響を与えるかもしれない。

よつて、豊島区議会は、東京都に対し、下記事項について強く要望する。

1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和8年度以後も継続すること。
2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、令和8年度以後も継続すること。
3 商業地等における固定資

長期化したコロナ禍に加え、物価高騰や極端な円安、エネルギー・原材料費の上昇などにより、多くの事業者が売上減や収益悪化に直面し、事業の存続が危ぶまれている。

特に、青色申告者を含む小規模事業者は、インボイス制度の導入後、課税事業者への登録を選択せざるを得ない場面も増え、これまで以上の税負担と事務負担が発生し、経営環境は一段と厳しくなっている。

物価高騰や極端な円安、エネルギー・原材料費の上昇などにより、多くの事業者が売上減や収益悪化に直面し、事業の存続が危ぶまれている。

可決した意見書（要旨）

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、令和8年度以後も継続すること。
(東京都知事あて)

主な掲載内容

- 議案等の審議結果一覧 2面
- 区政のここが聞きたい～一般質問（要旨）～ 3~6面
- 常任委員会Q&A 7面
- 視察来訪した議会一覧 8面

広報編集委員会委員

○ ふま みち（公明党）	○ 委員長	○ 委員長代理
○ 片岡きよこ（都民アースの会國民）	有里 真穂（自民黨豊島区議団）	
森 とおる（日本共産党）	入江あゆみ（維新・無所属）	
川瀬さなえ（立憲・れいわ）		



7年12月8日、「議会改革について」と題して議員研修会を開催しました。講師に大正大学地域創生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏をお招きし、議会改革を更に進めていく上ででの論点（議会基本条例など）について解説いただきました。今回の研修の内容を踏まえ、協議を深めて参ります。

議会改革について議員研修会を開催しました